

平成20年9月26日
リベステ株式会社

短期経営戦略ならびに現状について

わが国経済は、原油を始めとする資源の高騰により、企業収益環境が悪化しております。また、サブプライムローン問題に端を発し、米国経済の減速、世界の金融市場の混乱といった世界経済の状況が国内の景気動向に影響を与えており、国内経済全体としても厳しく、景気がさらに下振れするリスクが存在することに留意する必要があります。

特に不動産市場におきましては、米国および国内企業の倒産も影響し、急激な信用収縮と不動産価格の下落を伴って不動産取引全体にも影響が波及しており、これまでの流動化事業を中心とした成長一辺倒の戦略から在庫圧縮による財務健全化へのシフトが急務であり、各社は生き残りを目指した在庫物件の売却を進めております。

このような環境下、当社はチャンスと捉え堅実な経営の下、健全な財務状況を維持し、同業他社からの新築在庫物件を積極的に取得して、実体経済に沿った低廉な価格で販売することで、新たな需要を掘り起こし、かつ、回転を利かせ、売上高及び利益を確保する方針です。

短期戦略の現状といたしましては、第一弾の物件は販売を終了し、7月より第二弾、第三弾を販売中であり、順調に推移しております。今後も経営環境の変動、市場の変化に的確に対応し、経営の効率化、収益力の強化を図ってまいりたいと考えております。

なお、第31期の配当政策につきましては、従前より開示している通り1株当たり期末配当5,000円を予定しております。

以上